

国際ホテル旅館

INTERNATIONAL HOTEL MANAGEMENT

2021.8/5 第500号

発行所:国際ホテル旅館 〒104-0061東京都中央区銀座8-15-15(株)プライダル産業新聞社内

発行人:米谷美咲 年間購読料11,000円(消費税込)

TEL 03(6226)9580 FAX 03(6226)9578

<https://ihr-news.jp>

スマート観光DX クライシス

【第4回】「for バカンス」①

株式会社タップ ホスピタリティサービス工学研究所 執行役 藤原猛



■著者プロフィール

「変なホテル ハウステンボス」開業準備室長・初代総支配人として、IT やロボティクスによるホテルマネジメントを一心から企画・構築した。

2019年に湾つくしを設立。全国のホテルや旅館、観光施設などで、経営・業務管理のIT化・IoT化、経営改善をサポートする。2020年1月より現職。

東京2020オリンピック・パラリンピックが開幕しました。東京都の感染拡大を受けてほとんどの競技が無観客開催ですが、今やテレビ局でさえライブストーリーミング動画を配信するようになり、態々、会場に行かなくても観戦を楽しめると実感している方も多いのではないのでしょうか。

選手が競い合う内容は速さや技術ですが、そこに到達するまでのプロセスまで追えるようになっており、観戦する側にも、ある程度は結果に至ったのかが見えるようになってい

ます。当然、スポンサーが開発した新しい技術を利用していると思いますが、そんな技術の進歩を見るのも観戦の楽しみの一つと言えます。

このコロナ禍では「マイクロツーリズム」が人気を集め、テレビや新聞でも多く取り上げられています。生活圏内でレジャーを楽しむというスタイルや考え方は、旅行以外の領域にも浸透しつつあります。例えば「松屋銀座」は、自宅でスポーツ観戦を楽しむファ

ミリー層を狙って高級食材を使った惣菜や洋菓子をデリバリーサービスしています。

家に居ながら手軽に非日常を感じたい、というニーズは、現在の「旅」のスタイルにも通じるものがあると思います。今も収束が見えない状況の中、宿泊業界は夏休みの旅行需要を当てにすることができません。だからこそ、様々な事を試せるチャンスと捉え、以前も提案した3世代の家族旅行など、新たな宿泊ニーズの取

り込みを考えてみてはいかがでしょうか。

3世代旅行は、コロナ以前からその市場性を大きく期待されていました。コロナ禍の今は、それ以前とは違う形で成立させる仕組みを確立すれば、宿泊需要にとっても希望を持てると思います。遠く離れた実家に暮らす親には、自宅に居ながらホテルや旅館に宿泊するようなバーチャル体験を企画し、例えば食事を自宅に届けるなどして、旅

先でなければ味わえない料理を家に居ながら楽しめるようにします。そして、実際に旅先に行ける人は現地でその料理を体験してもらいます。自宅と旅先とをリモートで繋ぐなどすれば、場所は違えど同じ料理を同時に楽しむことができます。眠りのクオリティに力を入れているホテル・旅館であれば、その寝心地を自宅で体験してもらうために寝具をデリバリーする、というアイデアも浮かびます。

これを観光地全体で取り組めば、旅のコンテンツが遠くにいる家族もバーチャル体験できるようになるなど、さらに大きな事業として成長する可能性もあります。ひいては雇用創出や持続可能な観光地経営の支えともなります。さらに、バーチャル体験をした人は実際に現地へ赴きたくする性質もありますから、いずれ実際に足を運んでもらう、リピート客化するという考え方もあります。視点を交えて次々に市場を変化させ、そのあり方を今一度、考えてみてはいかがでしょうか。

家族旅行の新しい形とホテル旅館 旅先と自宅をリモートで繋ぐ擬似3世代旅